

令和6年度 名取市食育推進会議 議事録

日 時:2025/1/30 15:00~16:00

場 所:保健センター 2階 会議室

出席者:今野委員、洞口委員、大井委員、渡部委員、佐々木委員、板橋委員、庄司委員、山崎委員、
相澤委員、渡邊委員、佐藤委員、菊地委員、佐藤委員、熊谷委員、武田委員(15名)

事務局:安倍健康福祉部長、安部所長、加藤所長補佐、矢澤統括保健師、熊谷保健総務係長、
大内技術主査、庄司栄養士、横山栄養士、齋藤

作成者:栄養士 齋藤真愛

【委嘱状交付】

○加藤所長補佐

定刻となりましたので、始めさせていただきますと思います。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。司会を務めさせていただきます保健センターの加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、令和6年度名取市食育推進会議の開催に先立ちまして、辞令交付式を執り行います。受領につきましては、代表受領とさせていただきます。任期につきましては、令和8年11月30日までとなります。名簿の順にお名前を、読み上げさせていただきます。着席のままとさせていただきます。

1号委員 今野 暁子 様、

2号委員 洞口 のり子 様、大井 祥 様、岩倉 英一 様

3号委員 渡辺 順子 様、佐々木 志穂 様

4号委員 板橋 まゆみ 様、庄司 ゆき江 様、山崎 桃佳 様、相澤 雅彦 様、渡辺 義行 様、
佐藤 沙織 様、菊地 裕子 様、佐藤 徹也 様

5号委員 熊谷 由香里 様、武田 美由紀 様

それでは代表で今野暁子様、前の方にお進みください。

(委嘱状交付)

なお、1号委員の小林様、2号委員の広瀬様、4号委員の小室様から事前に欠席の連絡をいただいておりますことを報告させていただきます。他の委員の皆様につきましては、お手元の方に委嘱状を配布しておりますので、ご確認をお願いいたします。以上をもちまして、交付式を終了させていただきます。

それでは、会議に入る前に、本日の会議資料の確認をお願いいたします。まず、次第、資料1~3までありまして、資料1が「関係機関の食育の取組」でA4横、資料2はタイトルが「名取市の健康の現状」でA4横カラー印刷のものです。資料3は「令和7年度の食育の取組について」はA4縦になります。あと、条例と計画の冊子になります。お手元の方で不足している資料はございませんか。

【開会】

ただいまより令和6年度名取市食育推進会議を開催いたします。

本日の会議は、委員19名中、14名の出席があり、本会議場で第6条第2項に規定する会議開催の要件を満たしております。また、この会議は、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、公

開対象の会議となっておりますが、本日の傍聴者はおられませんことをご報告いたします。

初めに、健康福祉部長の安倍よりご挨拶を申し上げます。

○安倍健康福祉部長

健康福祉部長の安倍と申します。よろしくお願いいたします。日頃より名取市の食育に対して様々な立場から、ご活動いただきまして本当にありがとうございます。ただいま委嘱状交付させていただきましたが、任期が令和 6 年 12 月 1 日から令和 8 年 11 月 30 日までの 2 年間となります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて本市では、平成 31 年度に「元気なとり」食育プラン(第 3 次)を、皆様の力をいただきながら策定させていただき、若い世代を中心とした食育や、健康寿命の延伸に繋がる食育を推進するべく、関係機関の皆様のご協力のもと、取り組んで参りました。その取り組みの反省を踏まえて、令和 6 年 3 月には第 4 次名取市食育推進計画を策定。バランスのよい食事や、食塩摂取量の減少などにつなげる食育に取り組んでいるところでございます。併せて、野菜摂取を進める取り組みを展開すべく、本年度から新たに「チャレンジなとり〜減塩ベジ活 350〜」をスタートしております。

今後の食育による市民の健康の維持、増進はもとより、食文化への理解を深め、次世代へ継承できる食育、を目指して参りますので、委員の皆様のそれぞれのお立場から忌憚のないご意見いただければ幸いですと思うに存じます。どうぞ今日はよろしくお願いいたします。

○加藤所長補佐

安倍部長になりますが、次の公務がありますので、ここで退席とさせていただきます。

議事に入る前に、保健センター所長の安部より事務局職員を紹介いたします。

○安部所長

それでは、事務局職員の紹介をさせていただきます。

所長補佐の加藤です。

統括保健師の矢澤です。

保健総務係長の熊谷です。

技術主査の大内です。

栄養士の齋藤です。

最後に栄養士の横山です。

私、保健センター所長の安部でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【会長、副会長選任】

○加藤所長補佐

続きまして、会長及び副会長の選任に入らせていただきます。

本会議場で第 5 条第 1 項において、推進会議に会長及び副会長を置き委員の互選によって定める旨規定されております。つきましては、安部所長に仮議長になっていただき、会長の選任にかかる議事を行ってよろしいでしょうか。それではお願いしたいと思います。

○安部所長(仮議長)

それでは、進めさせていただきます。名取食育推進会議条例第 5 条で、会長は委員の互選によって定めとなっておりますが、選任については、自薦他薦でございますが、いかがいたしましょうか。

事務局からの提案でよろしいでしょうか。それでは事務局お願いします。

○熊谷保健総務係長

事務局案として、今野暁子委員に会長をお願いしたいと思っております。

○安部所長(仮議長)

ただいま事務局から会長に、今野暁子委員の案が出されましたが、委員の皆様いかがでしょうか。

それでは、委員の皆様のご賛同をえられましたので、今野暁子委員に会長をお願いすることといたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○加藤所長補佐

それでは、ただいま選任をされました、今野会長より一言ご挨拶をお願いいたします。

○今野会長

微力ではありますが、会長の任を精一杯努めたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○加藤所長補佐

ありがとうございます。それでは会長は議長席の方にご移動いただき、引き続き、副会長の選任にかかる議事進行をお願いいたします。

○今野会長(議長)

それでは、続きまして副会長選任についてですが、こちらも自薦他薦の方法がありますが、いかがいたしましょうか。ご意見がないようでしたら、会長一任ということでよろしいでしょうか。

洞口のり子委員に、副会長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは皆様の賛同を得られましたので、副会長を、洞口委員にお願いすることとします。どうぞよろしくお願いします。

【議事:報告】

○今野会長(議長)

それでは議事に入ります。まず報告事項ですが3つあるということですので、事務局から説明をお願いします。

(健やかなとり21について)

○矢澤統括保健師

それでは健やかなとり21について説明をさせていただきます。カラーの冊子をご確認をお願いいたします。

こちらは令和6年3月に策定したもので、4月からスタートしたものになります。これまで名取市の健康増進計画、食育推進計画、自死対策計画は、それぞれ個別に作ってありましたが、この度、関連する計画ということで、1冊にまとめて、健やかなとり21といたしました。

こちらの表紙になりますが、副題に一人一人が主役、健康づくり推進プランといたしました。2024年度から2035年度までの計画で、健康増進計画は第3次、食育推進計画は第4次、自死対策計画は第2次となります。

目次をご覧ください。こちら第3章が健康増進計画、第4章が食育推進計画、第5章が自死対策計画として章で分けた形になっております。

4 ページは、計画の位置付けになります。名取市の第 6 次長期総合計画を上位計画とし、市の各個別計画と整合性や連携を図るものになります。また、国や県の法律や計画を踏まえたものとなっております。

5 ページの計画期間については、国の健康日本 21 に合わせて、令和 17 年度までの 12 年間としております。国の計画や大綱の改正を踏まえて、令和 11 年度には中間評価を行い、必要時見直しをしていきたいと思っております。

8 ページをご覧ください。基本理念になりますが、3 計画共通するものとして「共に支え合う 生涯を通じた健康づくり」と定め、健康づくりや食育活動、自死対策を通して、すべての市民が心身ともに健やかであることを目指します。(3) の施策体系にありますように、健やかなとり 21 は、3 計画それぞれにおける取り組みが連動しながら、施策を推進していくことを目指します。9 ページの円の図は、3 つの計画の基本目標に、健康寿命の延伸、健全な食生活、支え合いの地域づくりとし、取り組みが相互に連動しながら施策を推進していくという図になっております。

59 ページからは、第 4 章の食育推進計画になっております。

105 ページ第 6 章 計画の推進ですが、基本理念である「共に支えあう 生涯を通じた健康づくり」を実現するために、食育推進会議の委員の皆様と連携し、各関係団体と行政が一体となって、進めていくという形のものになっております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上で説明を終了させていただきます。

(令和 6 年度保健センターの食育の取組)

○庄司栄養士

続けて、パワーポイントを使用して説明させていただきます。A4 横のカラーの資料 2 になります。

○横山栄養士

それでは、直近の名取市の健康状況についてご説明させていただきます。

まず、名取市の子供の肥満の割合ですが、3 歳 6 か月健診では、男女ともに減少しておりました。

次に 10 歳児では、平成 30 年度以降、男女ともに増加しておりました。

次に成人の体格として、BMI25 以上の割合は、令和 5 年度から令和 6 年度は、男女ともに増加しており、男性は約 2.5 人に 1 人、女性は約 4 人に 1 人が該当しておりました。

メタボ該当者及びメタボ予備軍の割合について、メタボ予備軍は、県や国より低いですが、該当者は男女ともに県や国より高い割合となっていました。

次に健診項目で、基準値を超えるものの割合です。オレンジは県や国よりも割合が高いもので、水色は国よりも割合が高いものに色をつけております。BMI や中性脂肪、HDL コレステロールは市民の摂取エネルギーが過剰であることを示唆しております。また、HbA1c や尿酸、血圧は、血管を傷つける要因となり、これらも高い割合であることがわかります。

次に、本市の血圧の状況です。40 から 74 歳の国保加入者で、高血圧症に該当した方は 23.7% となっており、今年度は改善していました。しかし、高血圧の方で、糖尿病にも該当していた方は 48.7% と悪化しておりました。

次に、宮城県民の 1 日の塩分摂取状況です。令和 4 年度県民健康栄養調査結果では、男性 11.2 グラム、女性 9.7 グラムと、食塩の摂取量は年々減少傾向となっておりましたが、平成 28 年度と比較すると、男性が 0.3 グラム減少、女性が 0.2 グラム増加していました。年齢別に見ると、50 代から 70 代男性で、特に多くなっているようでした。厚生労働省で定められている 1 日当たりの食塩摂取量は、男性 7.5 グラム、女性 6.5 グラム以下ですが、宮城県は依然として、目標よりも 3~4 グラム多く塩分を摂取している状況となっており、名取市も、県と同様に、食塩摂取量が多いと考えられます。

次に、本市の主要死因の変化を見ると、一位は悪性新生物、2位は心疾患、4位が脳血管疾患となっております。

ここからは、本市で取り組んでいる令和6年度の名取市食育推進計画第4次の実施状況についてご報告いたします。

まず、離乳食セミナーです。離乳食中期の10ヶ月を対象として実施しております。2種類の硬さのお粥と野菜スープの試食やグループワークを交えながら、離乳食についての悩みの共有や、食材の硬さや大きさがあっていいのかなど、保護者と確認する機会となりました。

次に、幼児健診での肥満児指導についてです。令和4年度から宮城県幼児肥満対策マニュアル2021をもとに、幼児健診の発育の判定に、肥満度を用い指導を実施しております。こちらは幼児健診での肥満児の出現率についてまとめた表になります。なお、令和6年度は1月6日時点に集計した結果を記載しております。母子健診全体をご覧いただきまして、令和6年度、肥満度15%以上の児の割合は、受診者のうち69人で5.6%が肥満となっております。そのうち、91.3%が健診時の個別栄養指導に繋がっています。令和6年度の健診後の支援状況につきましては、1月時点で7割以上の改善になりました。支援方法としては、健診の3ヶ月後に、保護者や所属先に電話連絡を行い、双方と情報共有しながら、児の食生活、発育状況を確認しています。肥満児の特徴としては、昨年同様、お菓子やジュースといったおやつの摂り過ぎ、生活リズムの乱れ、偏食等が多く見られました。

健診後のフォローの場として、キッズの食事サポート相談会も実施しました。昨年同様、幼児の太りぎみの減少を目的とし、仕事をしている保護者が参加しやすいよう、実施時間体を見直しましたが、昨年度よりも参加者の数が伸びず、減少となりました。次年度以降は、検診及び電話による指導の際に、参加の呼びかけを行うなど、より力を入れて実施していきたいと考えております。

続いて出張!ベジキッズセミナーです。市内幼稚園の5歳児に、野菜クイズをはじめ食材カードを1~4群の4つのグループに分け、食材の働きについて、体験しながら学習できる内容としました。保護者に対しては、お便りという形で、児の発育、食品と目安量について資料を作成して配布しました。

(チャレンジなとり~減塩ベジ活 350~)

○庄司栄養士

ここからは、チャレンジなとり~減塩ベジ活 350~についてご説明をさせていただきます。

令和元年度から昨年度まで元気なとり減塩プロジェクトを実施し、Ⅱ度高血圧以上の方の割合を7.6%から6.9%にすることを目標として活動した結果、4.7%まで割合を減らし、目標を達成しました。しかし、令和5年度に実施した食育アンケートでは、成人の1日の野菜必要量の認識が15.8%で、成人の野菜摂取量350グラム以上が5.6%と、野菜の摂取不足や、1日の摂取目標量の認識の低さ等が、等の課題が見られました。

本市の高血圧者の割合は下がってきているものの、全国平均から見れば、食塩摂取量はまだまだ多い市であると考えられます。また、野菜にはナトリウムの排出を促す働きのあるカリウムが多く含まれているため、今後は減塩と野菜摂取に関する取り組みをあわせて行うことで、さらなる健康増進の効果を期待し、今年度から新たにチャレンジなとり~減塩ベジ活 350~事業に取り組んでおります。

本事業の目標としましては、減塩に関しては、2度高血圧以上のものの割合を減らすこと、野菜摂取に関しては、野菜の摂取量350グラム以上食べるものの割合を増やすこと、1日の野菜の必要量を認識している者の割合を増やすことを挙げております。

今年度の事業の取り組みについてご紹介させていただきます。

名取市では、特に若い世代から減塩することへの重要性を伝えるため、母子健康手帳交付の際に減塩醤油の配布、乳幼児健診や秋まつりなどの減塩野菜摂取の普及啓発イベントで、減塩パンフレットの配布などを行っております。

名取市減塩推進協力店は、減塩の普及啓発や市民の皆様が減塩食品を購入しやすい環境整備の取り組みとして実施しています。今年度は新たに 5 店舗が認定され、市内 20 店舗に減塩推進協力店として活動していただいております。のぼり旗やステッカーの掲示の他、減塩推進協力店と共同で市民の皆様を対象とした減塩や野菜摂取の普及啓発イベントを実施しました。店舗内にて野菜摂取状況の計測や減塩食品の試食、減塩のポイントや減塩レシピ等の配布、掲示を行っております。今年度はすでに 8 回実施しており、年度内にあと 1 回予定をしております。

その他、11 月にイオンモール名取で開催された「歯と口と健康のひろば」や「ふるさと名取秋まつり」で食育コーナーを設け、ベジミルでの野菜摂取量測定や、減塩笹かまぼこの試食等体験型イベントの他、減塩食品やポスターの掲示などを行い、野菜摂取や減塩の必要について、必要性について広く周知する機会となりました。

この他にも減塩推進協力店にご協力いただき、厚生労働省で定められている食生活改善普及運動月間の期間中、食塩マイナス 2 グラムの POP を店頭に掲示していただいております。

続いては、スマートミール認証についてです。スマートミールとは、1 食の中で、主食・主菜・副菜がそろい、野菜がたっぷり、塩分に配慮した栄養バランスのとれた食事のことで、昨年度、認証のあった 3 店舗に加えて、Cafe 食堂 Laugh. まで新メニューが一品追加されました。

次に、減塩ミニ学習会についてです。減塩ミニ学習会は、令和 5 年度特定健康診査等で 1 度高血圧以上の減塩の必要性がある方に対し、講話やグループワークなどを通して、高血圧のメカニズムや体への影響など減塩に関する学習会を年 3 回実施しております。今年度、減塩ミニ学習会に参加した方の健康診査の血圧の結果を比較すると、18 人中 13 人が改善しておりました。学習会では、前日の食事記録の振り返りや尿中塩分測定の記録から、加工食品や麺類、漬物などで、塩分を取りすぎていると感じた方が多かったようです。学習会後には、減塩調味料を配布、実物の野菜を計測していただくなど、実際に体験していただくことで、調味料を継続して使用するようになった方や、野菜を意識して食べる方が多くいらっしゃいました。

その他、公共施設を利用した際に、身近に血圧が測定できるよう、市内 3 ヶ所に血圧計の設置も行っております。

プロジェクトの取り組みやイベント等のお知らせなど、どなたにも見ていただけるように、広報や SNS などを活用しながら、減塩や野菜摂取の普及啓発を行っております。今後の取り組みとしましては、市民の皆様が減塩と野菜摂取に繋がるよう、学校や他の機関と連携し、食育事業を推進する予定です。

以上がチャレンジなとり〜減塩ベジ活 350〜事業についてのご紹介でした。

○今野会長(議長)

ただいま事務局より 3 点説明がありましたが、委員の皆様から質問等は、ございますか。

特になしということでしょうか。

それではもう一枚こちらの横の資料 1 の配布資料がありますが、委員の皆様から令和 6 年度の取り組みについて、提出していただいています。何人かの委員の皆様から、その内容についてご報告をいただきたいと思います。洞口委員と、渡部委員、板橋委員、相澤委員、熊谷委員にお願いしたいと思っております。まず洞口委員の方から、令和 6 年度の取り組みについて、報告も含めてお話いただけますでしょうか。

○洞口委員

産直ネットワークなとりの洞口です。産直ネットワークなとりは、野菜の産直をやっているグループです。9 グループが一緒に活動しているんですけども、大体それぞれがいろんな地区に分散して活動しているものですから、その地区の公民館なんかと連携して、常に私たちが食べている野菜のたっぷり入った料理を、皆さんに教えたり、児童センターとかに行こうという野菜があるんだって見てもらったり、販売もす

るんです。そうするとお子さん達は喜んでミニトマトとかキュウリとか買ってくれるので、より身近に野菜っていうものはあるんだよっていうことを、各グループでやっております。

あと実践大学と連携しまして、加工連っていうところで作っている名取産の米と大豆で作った味噌を使ってこちらは伝統料理っていうものを、小学生の親子を対象に、その他に野菜も一緒に食べてねっていうことで、野菜の普及に取り組んできました。

○渡部委員

宮城県仙台保健福祉事務所の渡部です。私どものところでは、「大人こそ！ベジプラスチャレンジ 2024」という事業を紹介させていただきました。こちらは働き盛り世代の方を対象に、野菜摂取の増加など、に繋がるような動機付けの機会を作ればということをやっておる事業になります。管内の事業所を対象にして、3人1組でチームを組んでいただいて、野菜摂取に関する目標をそれぞれ立てていただきます。目標に関しては、簡単なレベル1「まず野菜から食べる」というところから、だんだんレベルが上がっていきまして、レベル2ですと、「朝ご飯に野菜を食べる」、レベル3は「毎食野菜を食べる」、レベル4は「毎日350グラム以上の野菜を食べる」というものから、自分たちがやる目標を設定していただいて、1月間、目標がどれくらい達成できたかっていうのを、やっていただくような形になっています。今年は32事業所の159チームが参加しまして大体500人弱の方にご参加をいただきました。たくさん頑張った事業所さんですとかチームには、商品などもお渡ししまして、参加、ぜひいただけるようにというような工夫などをしておるところです。こちらの参加者の方にアンケートなどを行ったんですが、参加いただいた方は野菜から食べるようになったとか、野菜を意識して摂るようになったと半分以上回答していただき、あとは職場ですとか、家庭で野菜に関する話の機会が増えたというような波及効果なども見られておりまして、ぜひ私どもの方では、来年度も継続してやりたいなというふうに思っております。こちらにお集まりいただいた皆様方にも、ぜひご参加いただきたいなというふうに考えております。特に、来年度は、意外とその他のやってない方への波及効果があるというようなことがわかりましたので、学校の先生ですとか、保育士の先生とか、幼稚園の先生とかそういったところにもぜひどんどん取り組んでいただければと思っております。PRの機会をいただけたらなと思っておりますので、ぜひ、来てもいいよっていうようなところがあればどこにでも出かけますので、事業の説明などさせていただけたらと思います。

こういった取り組みが広がれば、名取の食育計画の推進、にも繋がっていくのかなというふうに思いますので、ぜひご参加いただけたらなと思っております。

○板橋委員

ゆりが丘保育所の板橋です。ここに書かせていただいたのはゆりが丘保育所というところで書かせていただきましたが、他の2ヶ所の保育所についても同様の内容で食育活動というところで、行っているかと思っています。

保育所では、10年以上前ぐらいから続けて、様々な取り組みをしておりまして、ここに書いてある通りなんですがご覧ください。これに加えて今年度は、コロナ禍で見合わせていた給食の試食会というのを、久しぶりに保護者さんが参加をする保育参観、それから懇談会を利用して給食の試食というのを今年度行ってみました。保護者さんからはやはり、実際に子供たちが毎日食べている給食を見ていただき、味を見ていただいたことで、具材の大きさを、このぐらいの子供にはこういう具材の大きさだったりそれからやわらかさだったり、味つけだったり、このぐらいがいいんですねということで、参考になりましたというようなお声をいただいております。

それから、保育活動を通しての食育活動としてとしては、5歳児の就学を控えている児がメインで行っておりますが、3歳児4歳児についても、例えばクッキングで、年齢に合わせたクッキング、野菜のちぎり方だとか、そういうようなところで年齢に合わせたところで行っております。

○相澤委員

農林水産課の相澤です。農林水産課としてここに書いてある通り、名取市地域農産物等消費拡大推進協議会で行う、なとり・ぐるっと親子講座で一般の方を広報で募集かけて、17 家族 58 名の申し込みがあり、田植えや稲刈りの体験、洞口副会長にもお手伝いをいただいているんですが、夏野菜のもぎ取り体験などを行っております。

また近年は、仙台せりの方の収穫体験っていうのを加えながら、なとり・ぐるっと親子講座でメインとして導入したものをやっている状況でございます。

この協議会から、名取産の農産物を利用した料理講習会の方に、各公民館の方で実施されている講座の方に助成をしているところでございます。

また、ここにはないですが、農協さんにもかかっているのですが、各学校ということでは小学校 5 年生の稲刈りの体験ということで、その部分を農林水産課の方も絡んでいるというような状況でございます。

○熊谷委員

保健センターでの事業「出張!ベジキッズセミナー」の目的としまして、子供自身が野菜の必要性について、理解できるように、子どもの成長に応じた、食品必要量、栄養及び食品について学習し、生活で実践できるよう、今回は小松菜なんですけども、地元食材を活用し、理解を深めるとともに、健康増進に繋がることを理解するとなっています。最初は緊張していた子供たちも、お野菜クイズや食べ物がどのグループに入るのかゲームをしながら進んでいくうちにとても元気に参加してくれました。最後は子供達の笑顔で、ありがとうございましたって言ってくれたのがとても印象に残っています。

○今野会長(議長)

委員の皆様、ご報告いただきましてありがとうございました。

それでは続きまして、協議事項になります。令和 7 年度の食育の取り組みについて、事務局の方からお願いいたします。

【議事:協議】

○大内技術主査

まず初めに、名取市食育推進計画(第 3 次)については、昨年度の食育推進会議について説明をさせていただいたところではありますが、今回新たに委員になられた方いらっしゃいますので、改めてご説明をいただきたいと思います。

お手元にあります冊子の 60 ページ、61 ページをお開きください。前計画の評価となっておりまして、5 つの基本目標に対しアンケート及び調査を行いました。評価については、「A 評価目標に達した」「B 評価悪化している」こちらについては網掛けをさせていただいております。A 評価については 15 項目、B 評価は 15 項目となっておりました。

続いて 62 ページをご覧ください。食育推進計画の施策体系ですが、前計画の評価を踏まえて、基本目標を、「一人ひとりが食を生きる上での基本としてとらえ、健全な食生活と心身の健康増進を目指す」とし、3 つの主要施策と、達成すべき 6 つの目標を掲げております。

次ページをご覧ください。施策の展開としまして、関係団体や市民との協働により、計画を推進するとともに、食育の取り組みが効果的に推進されるよう、食育推進会議の開催や、計画の進行管理、広報や、SNS アプリのプッシュ通知等を活用した情報発信を行っていきます。

続いて 64 ページをご覧ください。主要施策としまして、生活習慣病及び重症化予防に繋がる食育の推進、ライフステージや自身の生活に合わせた食育の推進、地域の食材や食文化への理解を深め、次世

代への継承に繋がる食育の推進の3つを立てております。この3つの主要施策を踏まえて、各事業を推進する他、6つの食育の取り組みを掲げ、それぞれに目標を設定することで、着実な計画の推進を図ります。6つの取り組みですが、①朝食をとる者の増加、②バランスのよい食事をする者の増加、③野菜摂取量の増加、④食塩摂取量の減少、⑤家族と一緒に食べる朝食の増加、⑥地産地消の取り組みの増加としております。今お話をさせていただきました内容と現状、また課題や目標対策については、65ページから73ページにかけて掲載させていただいております。特に、令和6年度保健センターにおいては、主に③野菜摂取の増加と、④食塩摂取量の減少に取り組み、先ほど紹介をさせていただきました「チャレンジなとり〜減塩ベジ活350〜」を推進しているところです。また、必要量の野菜摂取や減塩に繋がる栄養指導についても継続して取り組んでいるところです。

食育推進計画の数値目標についてまとめたものについては、109ページをご覧ください。

今後の食育に関しまして、先に報告させていただいておりました概要版も含め、ご覧いただき、活用いただければと思います。名取市食育推進計画第4章の説明については以上になります。

続けて、令和7年度の食育の取り組みについて説明させていただきたいと思います。

資料3をご覧ください。生活習慣病予防及び重症化予防に繋がる食育の推進が、一番上に来ているかと思いますが、主にこちらについては、母子健康手帳交付時や乳幼児健診、総合健診時に、市の健康課題を踏まえた健康教育や栄養指導を進めていく予定です。

次に、ライフステージや自身の生活の変化に合わせた食育の推進では、主に離乳食セミナーやキッズの食事サポート相談会を実施し、個人の相談内容に合わせた食育を行っていきます。

地域の食材や食文化への理解を深め、次世代への継承に繋がる食育の推進では、出張ベジキッズセミナーを実施いたします。先ほどもお話がありましたが、幼稚園に出向きまして、園児に対し、講話と体験ワークと保護者向けには資料を家庭に持ち帰っていただくといったことを行います。

チャレンジなとり〜減塩ベジ活350〜では、減塩推進協力店の募集だけでなく、引き続きイベント等の実施を考えております。また、親子で参加いただき、好評だった「ふるさと名取秋まつり」も継続して行う予定です。新たな取り組みとしましては、1日に必要な野菜摂取量を理解し食べる者を増やすことを、産直ネットワークなとり様と連携し、野菜摂取量に繋がる取り組みを展開していく予定です。いもどりなとり産直マーケットにお越しいただいた方に、チラシの配布ですとか、減塩調味料の試供品の配布、ベジメータを活用した体験を検討しております。

また、献血事業と連携しましては、献血を継続してできる体づくりをテーマとしまして、献血会場に減塩に関するポスターの掲示や献血記念品とあわせて、チラシを配布するなどを検討しております。また、その他としまして、食育推進会議の開催、食育研修会、栄養士学習会の食育スキルアップセミナーなどを継続して行っていく予定になります。

○今野会長(議長)

それでは委員の皆様からのご説明に対してご質問はありますか。

○相澤委員

いもどりなとり産直マーケットについて話をしていましたが、どこかに書いてありますか？

○熊谷保健総務係長

資料3の、令和7年度からの新たな取り組みのところの産直ネットワークなとり様との連携に含めた内容となります。

○今野会長(議長)

他にご質問、ご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

保健センターの取り組みについては以上ということですが、ここでまた委員の皆様から、来年度の食育の取り組みについて、ご紹介いただければと思っております。大井委員、佐々木委員、庄司委員、山崎委員、佐藤委員にお願いしたいと思います。まず初めに大井委員からお願いします。

○大井委員

尚絅学院大学附属幼稚園の大井です。令和 6 年度に準ずると書いてある通りでなんですけども、クラスごと年齢別に 3 歳児から 5 歳児まで 90 名の園児が在籍しており、月 1 回のクッキングをクラスで行っております。それを引き続き、またコロナ禍が終わって、みんなでクッキングして同じものを食べるという喜びを、引き続き味わっていききたいと思います。

また、毎週水曜日と金曜日の 2 日行っていた給食を来年度からは、週 3 回水・木・金に増やして、週 3 回、業務委託の方で、給食を食べていきます。

郷土料理では、仙台の芋煮、笹かまぼこなど、仙台産の雪菜や新米を使用した、地産地消のものを紹介しながら美味しくいただきていきたいと思えます。

また毎年、子供たちと話し合い、活動を通して学年ごとに収穫育てる野菜を決めています。毎年違うものを育てる予定なので、来年度も子供たちの思いや教職員の思いをくみながら、苗植えから収穫まで行い、みんなで食べたりし、また、キリスト教保育を行っておりますので、秋の収穫感謝礼拝などにも活用していきたいと思っております。

○佐々木委員

宮城県農業高校の佐々木です。令和 6 年度の取り組みとしまして、行事等での取り組みの中で、全国の味噌を使った特色のある味噌汁の提供、米の品種の食べ比べ、それから和食の日の給食とかバイキング給食につきましては、農業高校という特性を生かして生徒が授業等で栽培しました作物を使って、これらのイベントを実施していましたので、来年度も引き続き継続していきたいと考えております。

年間を通しての取り組みの中では、花壇がありますのでそちらの野菜づくりは継続していきます。

個別的な相談指導について、部活動等に励んでいる生徒もたくさんおりまして、そういった生徒から、減量とか増量についての相談を受けることも多いので、そういう生徒に対しての個別指導、それから肥満生徒に対しての働きかけ、それから食物アレルギー対応等について行って、引き続き行っていきたいと考えております。

今年度新しく外部連携として、タイ料理の料理人の方を招いて食育を行ったり、市内のレストラン HACHI さんとのコラボもして給食の提供を行ったりしたものについては、生徒にとっても反響考えて、好評でしたので、また別の企画に同じような、外部連携をもう少し広めていきたいなと考えているところです。

○庄司委員

愛島児童センターの庄司です。今年度、今まで中止せざるをえなかった食べる行事を今年度から再開できたので、来年度も継続して行う予定でおります。その中で、おくずかけという行事が、思いの外子供たち、保護者にとっても好評で、初めて食べたという感想だったので、来年度も継続できるように、計画したいと思っております。

ここには載っていませんが公民館との協働事業みたいなかたちで、学年末の春休みの朝ご飯時間に子供食堂、児童センターの利用の子供に向けて朝ごはんを実施していただけるということで、おにぎり味噌汁程度の本当に軽食の朝ご飯にはなるんですが、どうしても朝食を食べないでしまうお子さんが多いということで、そこから今度、自分たちでおにぎり作るとかそういう流れになったらいいなと考えております。

3月の実施なので、来年度に向けての流れは未定ですが、食に関して、児童センターはどうしても食べる機会はない施設なので、そのようなところから繋げているところです。

○山崎委員

名取が丘保育所の山崎です。令和7年度の取り組みについて検討中となっているんですけども、ゆりが丘保育所含め、名取が丘保育所、増田保育所昨年度と同様の内容を行う予定になっております。

ゆりが丘保育所の方にも書かれているんですけども、毎日のクラスの巡回を初め、年10回の食育指導、クッキングですとか、絵本とのコラボおやつ取り組み、給食の減塩の取り組みを引き続き行っていきたいと思います。

○佐藤委員

増田中学校、学校給食センター所属の佐藤です。来年度については今年度と同様の内容で実施予定になっております。

食育に関する資料ですが、小学校については栄養士が小学校の方にお伺いして、本年度は9校30学級で授業を行いました。内容については学年学級の実態によってそれぞれで、学校の方から希望の事業内容の方をお伺いして、その内容について授業をするという流れになっております。

中学校については、資料の提供という形で、まずそのテーマに合わせた内容のプリントと、それを、についての音声データを提供しております。音声データについては提供した資料の内容を読み上げるような内容ですけれども、10分程度の長さで作成して、朝読書の時間に活用していただけるように作成しております。

給食センター見学については、小学校3年生から6年生を対象に、午前中の給食を作っている時間にセンターの方に来ていただいて、案内をするということをしております。こちらについては名取市内全部の小学校で実施しております。

リクエスト給食ですが、小学校については人気の給食についてリクエスト集計をして人気のもの、上位のものを実施するという形で、中学校については、1食分の献立をしっかりと考えていただいて、そちらを10月から12月にかけて実施するという内容で実施しております。

食育バイキング給食についてです。小学6年生の卒業お祝いも兼ねた内容で実施しております。今年度については3校5学級で実施しております。バイキングについては、ただ楽しむだけではなくて、自己管理能力の育成、それから郷土愛の育成をテーマにしております、事前学習をしっかりといただいてから実施しています。内容についても地場産の食材を使用した料理を提供するという内容で実施しております。

給食週間への協力については、学校給食委員会とかの委員会活動とかの質問の回答であったりとか、実際に学校に赴いて、委員会活動に参加をしたりもしております。

それから、学校給食の試食会も実施しております。学校から要望があった場合、学校給食のひとくちメモ、給食レシピの提供をしております。

毎年実施しているものではないですが、学校さんの方から要望があった場合PTA行事で講話などもしております。

来年度も同様の内容で実施したいと考えております。

○今野会長(議長)

委員の皆様の方の来年度の取り組みについてご紹介いただきましてありがとうございました。昨年度の保健センターとして各所属だけそしてお互いに連携協力しながら食育の推進を図っていければと思います。以上をもちまして議事の方を終了いたします。それでは事務局にお返しします。

【議事：その他】

○加藤所長補佐

スムーズな議事進行ありがとうございます。最後にその他になりますが、事務局の方では特にご用意の方はしておりませんが、委員の皆様の方から、ぜひこのような機会なので、何かあれば、お聞かせいただければと思います。

特にないようであれば、閉会の挨拶の方に入らせていただきたいと思います。それでは、閉会の挨拶を、先ほど選任されました洞口副会長よりお願いしたいと思います。

【閉会】

○洞口副会長

本日は、会議がスムーズに進行できましたことを感謝申し上げます。名取市食育推進計画(第4次)が4月からスタートしておりまして、全計画を踏まえた新たな食育の取り組みを行われているところです。各委員の皆様も、市民の、健康保持推進のために、食育推進に取り組んでいただければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。本日はお疲れ様でした。

○加藤所長補佐

以上をもちまして、令和6年度名取市食育推進会議を閉会いたします。本日は大変ありがとうございました。